

# データでみる「大阪の成長戦略」について

## ■ 趣 旨

- ・「大阪の成長戦略」については、**H22年12月**の策定から2年が経過。
- ・今回、「データでみる大阪の成長戦略」として、現在の進捗状況を改めて把握するとともに、成長目標の到達状況等について評価・分析を実施。
- ・本日の「成長戦略推進会議」の趣旨は、進捗状況（何が進んでいて、何が進んでいないのか）について共通認識の形成を図り、年明けに成案化を予定している府・市一本化した「成長戦略」に反映させるなど、今後の成長戦略の推進に活用し、戦略のさらなる推進を図っていくこと。

## ■ 現状と課題

### (1) これまでの取組の概括

- ・総合特区の指定獲得など、成長への基盤づくりにおいては着実に進捗しているものの、実際の企業立地やイノベーション創出はまさにこれからが正念場。
- ・この間、府として「知事重点事業」などによる取り組みを進めているが、十分な成果を出せる段階にまでは至っておらず、さらなる推進に努める。さらには、国の制度改正がなされない等の理由により、実現できていない項目もある。全体としては、ようやく一合目から二合目にさしかかった段階。

#### 【実現した主な項目】

- ・関西イノベーション国際戦略総合特区の指定獲得（今後、府として総合特区の推進体制を強化）
- ・関西国際空港におけるLCC就航拡大や国際物流拠点の立地決定
- ・水と光のまちづくりや大阪マラソンなど、大阪の都市魅力の発信

#### 【知事重点としての取組み】

- ・新エネルギー、グローバル人材育成やキャリア教育、みどり関連施策 など

#### 【実現していない主な項目】

- ・統合型リゾート施設（IR）の立地
- ・ハローワークの地方移管

### (2) 成長阻害要因からみた現状・課題

	成長阻害要因	現状・課題
経済	産業構造の転換	高齢社会を踏まえたサービス産業の活性化や海外展開、製造業の高付加価値化が課題
	東京圏への企業流出・周辺部への分散	大都市・大阪の重要性を位置づける大都市圏制度が必要
	経済自由度の低さ	総合特区が導入されたものの、規制緩和は道半ば
	中国等新興市場への乗り遅れ	海外展開では、輸出入割合の多いアジア、特に新興市場に期待。一方、在阪外国企業は概ね減少傾向
	中間所得層の減少	中間所得層や府民所得の減少要因である就業率は、わずかに改善するも依然低い水準
	新たなエネルギー社会づくり	「安全」「安定」「適正価格」のエネルギー供給体制に向けさらなる加速が必要
	大阪都心部の再生	総合特区の指定や活発な民間投資を活かし、大阪都市圏の成長をけん引する中核拠点に
雇用	十分に活用できていない潜在労働力	依然、国より低い若年や女性の就業率向上が課題
	医療・福祉分野における人材等の不足	伸び悩む福祉・介護人材の充足率、増加する待機児童
集客、人流・物流	インフラや既存資産の低利用、社会資本の形成・活用不全	関空は近年順調に推移しているが、一層の機能強化が課題 阪神港は、釜山からの貨物奪回が引き続き課題
	閉鎖性・排他性	伸び悩む国際会議開催数や留学生数の改善に向けた取組強化が課題
	都市圏全体での魅力づくりの不足	民間の力を最大限活用しながら、大阪府、大阪市をはじめとする府内市町村と連携して、更なる都市魅力の創出に向けた仕組みづくりに取り組むことが必要
	国土構造の東西二極化	東西二極の一極として大阪・関西の位置づけが必要

■成長目標達成状況

(1) 経済

◎実質成長率

	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25) ~
目標	—	+2%以上		
[実績]府実質成長率	未公表	未公表	未公表	—
[代替]府企画室推計	+1.8%	+0.7%	—	—
[参考]国実績	+3.4%	+0.3%	未公表	—

◎一人当たり所得

	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25) ~
[実績]府実績	未公表	未公表	未公表	—
[参考]国実績	2,729 千円 (+2.0%)	未公表	未公表	—

(2) 雇用

◎就業者数

	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25) ~
目標	—	10 千人	10 千人	10 千人
[代替]府内就業者の変化	▲17 千人	31 千人	未公表	—
[代替] " 生産 年齢人口急減の影響を 一定取り除いた推計値	▲4 千人	38 千人	未公表	—

(3) 集客、人流・物流

◎訪日外国人数 (来阪数)

	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2020 (H32)
目標	—	—	—	650 万人
[実績]訪日外国人数	235 万人	158 万人	未公表	—

◎関空貨物量

	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2020 (H32)
目標	—	—	—	123 万トン
[実績]関空貨物量	75 万トン	71 万トン	36 万トン (上半期)	—

◎阪神港貨物量 (外貿貨物)

	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2020 (H32)
目標	—	—	—	590 万 TEU
[実績]阪神港貨物量	400 万 TEU	427 万 TEU	未公表	—